

表土の削り取り

農地土壌を薄く削り取り、
土壌表層に蓄積している放
射性物質を除去



表層土壌と 下層土の反転

表層土と下層土を反転す
ることで、作物が吸収する
層の放射性物質濃度を低減



農林水産省「農林水産現場における対応」より作成

農林水産省

大気中に放出され農地に降下した放射性セシウムは、耕うんしていない農地では、表層に蓄積されています。そこで、放射性セシウム濃度の高い農地では表層を薄く削り取る方法や表層土壌と下層土を反転させる「反転耕」などの手法で、農地の除染が行われています。これらの取組により、農地の放射線量の低減が図られることとなりますが、同時に農作物の根の張る層の放射性物質濃度も低減され、放射性物質による農作物の汚染低減にもつながっています。

本資料への収録日：2013年3月31日

関連 Q&A

・4章 QA3 農林水産物の安全性を確保するためにどのような取組がとられているのですか